

体験・体感型トレーニングによる 「ダイバーシティ・マネジメント研修」 ご活用のおすすめ

～多様な人材を活かし、育てるリーダーシップを醸成する～

女性、外国人、障がい者・・・組織における人材の多様化がますます進んでおります。そのため、管理者には、人材の多様性を受容し、リードする態度とスキルが求められます。その際にポイントとなるのは、自他の「価値観」の違いを知り、良好なコミュニケーションを築くことです。

表層的なダイバーシティ(年齢・性別・国籍等)にとらわれるのではなく、深層的・内面的なレベルでのダイバーシティに気づくことが、その一歩となります。

このプログラムは、そうしたリーダーシップを醸成することを目的としており、貴社・貴団体における社内研修でのご活用をおすすめいたします。

座学中心の研修とは一線を画した、**インタラクティブ・トレーニング**として設計されておりますので、体験・体感を通して多くの気づきやスキルを得ていただくものとなります。



詳細プログラムは裏面をご覧ください

担当講師



梅原 由貴 氏

一般社団法人日本経営協会 講師
OPEN UP 代表／組織開発コーチ

- ・慶應義塾大学商学部卒業後、ボストンサイエンティフィックジャパンに在籍
- ・2006年より株式会社コーチ・エィにて10年にわたり、企業研修トレーナー/200名以上のリーダーにエグゼクティブコーチを行う
- ・2015年より株式会社インテリジェンスにて戦略人事・日系企業初の社内専業コーチに従事
- ・2016年OPEN UP設立

お問合せ表 FAX:03-3403-8417

※必要事項をご記入のうえ、お送りください。
(該当のチェックボックスにはし印)

- ダイバーシティマネジメント研修を検討しているので、具体的内容をご相談したい。
- 梅原由貴氏の他の研修内容について知りたい。
- その他(相談内容: _____)

| | | |
|-----|-----|--------|
| 会社名 | ご担当 | 氏名 |
| | | 所属・役職 |
| 住所 | 連絡先 | TEL |
| | | E-Mail |

※ご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。

①ご照会いただいた事項についてのご連絡 ②その他の研修・公開セミナーについてのご案内 ※②がご不要の場合は□にチェックをしてください。 □不要

「ダイバーシティマネジメント研修」プログラム内容

ねらい

- グローバル化、少子高齢化などを背景とした人材の多様化に対してそれを受容し活かすことができるリーダーシップを醸成する。
- 多様な相手に対して自分自身の関わり方の特徴を知り、新たな関わり方の視点を手に入れる。
- 現状に合った効果的アクションが生まれる(→部下の主体性の向上、職場の一体感の醸成)

午前

■オープニング

◇講師自己紹介・プログラム概要説明

■ダイバーシティとは？

- 表層的多様性と深層的多様性について
- なぜ人は異なる存在を受け入れがたいのか？
- なぜダイバーシティマネジメントなのか？

■多様な相手に対しての関係構築(1)

(講義、実演、実習)

- 多様性の中でのコミュニケーションの共通した約束
- 適切な距離感を構築するには？

■多様な相手に対しての関係構築(2)

(講義、実演、実習)

- 信頼関係を構築するかかわりとは？
- パートナーシップの結び方

午後

■多様な相手を育成、パフォーマンスを引き出す

◇伝えた通りは伝わらない

- 伝えた通りに伝わらないその理由
- その中で相手の行動変容を促すには？

◇様々な多様性

- モチベーションスイッチの探し方
- 相手の価値を知り、それを生かすには？
- コミュニケーションスタイル違う相手への効果的なかかわり方とは？

◇多様性の中でのリーダーとしての発信力を高める

- フィードバック、提案、要望を使いこなす
- 伝わらないを伝えるに変えるためには？

■まとめ

◇今日学んだことのシェアおよびQ&A

◇職場での実践にむけて

<終了>

※休憩は適宜はさんで運営します。また、最大限の効果を生むために、状況に応じてコンテンツの長さ内容を調整することがあります。

ダイバーシティの視点(表層的・外面的→深層的・内面的)を知る

期待される効果

(日常のふり返り)
自分の関わり方と相手の反応は？

(新たな学習)
新たなかかわり方、その視点とスキル

(職場実践)
現状にあった具体的なアクション構築

(参考)

梅原氏の他の研修

- ✓ 部下育成力向上研修・ベーシック (コーチングスキルの基本)
 - ✓ 部下育成力向上研修・アドバンス (基本編のフォローアップ)
 - ✓ キャリア・ビジョン研修 (セルフマネジメント力向上に向けて)
 - ✓ グループコーチングによる研修 (組織課題に対する継続的トレーニング)
- * 詳細についてはお問合せください。

お問合せ先

一般社団法人日本経営協会 東京本部 経営開発グループ URL <http://www.noma.or.jp>
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8 TEL03-3403-1716 E-mail tiso@noma.or.jp